



2026年12月期 第2四半期決算

株式会社ユカリア（証券コード：286A） | 2026.8

INDEX

1 2026年12月期 第2四半期 実績

2 2026年12月期 業績予想

3 Appendix

1 2026年12月期 第2四半期 実績

1 2026年12月期 第2四半期 実績

2 2026年12月期 業績予想

3 Appendix

▶ エグゼクティブサマリー

前期比で減益も期初計画比は想定通りに推移。通期業績予想は修正なし

- 売上高は、既存事業の成長と前期実施M&Aの寄与で順調に推移
- 医療経営総合支援において、提携病院の新規獲得遅延により予算未達
- 当期純利益は、主に前期のワンタイム収益の反動減により減益

提携病院の新規獲得遅延。BPOおよび在宅医療は着実に伸長

- 提携病院の新規獲得は、引き続き、複数の医療法人との対話を継続
- BPO領域は、新規導入が累計6件（第2四半期5件）。期初想定を上回る進捗
- 在宅医療領域では、新たに2支所を開設し、利用者数も計画通りに増加

現場起点の事業開発で次の収益基盤構築が進展

- 病院経営の現場で捉えた課題を事業化するモデルが機能し、BPOなど、複数の取り組みが成果に結実
- 新規取り組みとして、医療機関における資金課題を解決する金融サービスの外部展開に着手

▶ 2026年12月期 第2四半期 連結業績

売上高は順調に推移するも、前期のワンタイム収益の反動により減益

(百万円)	2025/12期 第2四半期 累計実績	2026/12期 第2四半期				
		累計実績	1Q	2Q	前期比	
売上高	10,520	13,678	6,484	7,193	+3,157	+30%
売上総利益	4,751	5,257	2,468	2,789	+506	+10%
Margin	45.2%	38.4%	38.1%	38.7%	-	-
営業利益	1,134	395	74	320	▲739	▲65%
Margin	10.8%	2.8%	1.1%	4.4%	-	-
EBITDA ¹	1,834	1,199	472	727	▲634	▲34%
Margin	17.4%	8.7%	7.2%	10.1%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	823	489	369	119	▲334	▲40%
Margin	7.8%	3.5%	5.3%	1.6%	-	-

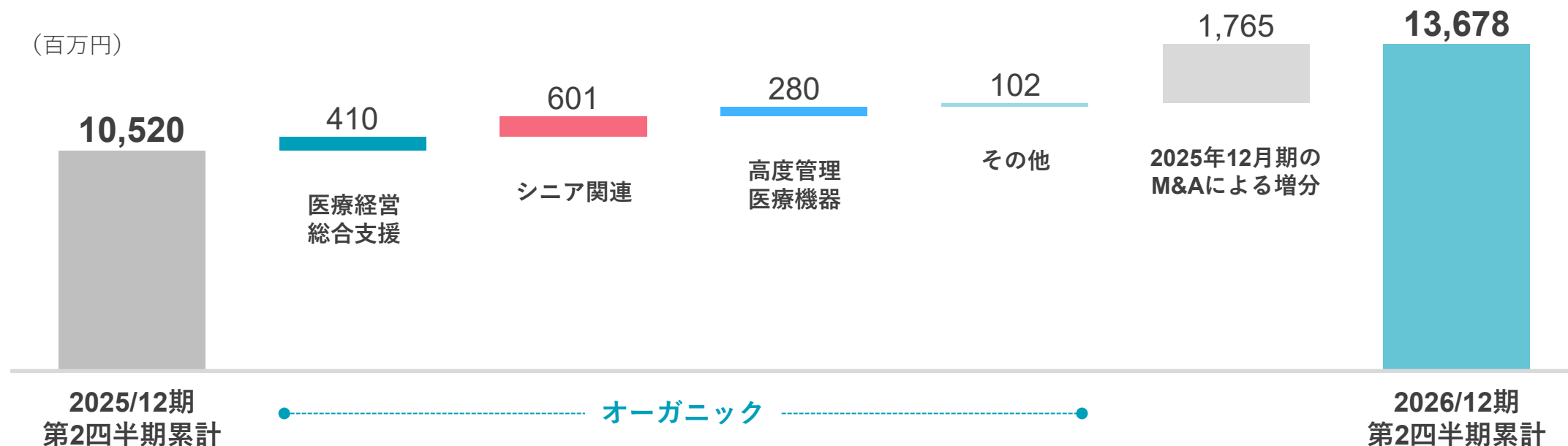
(注釈) 1. EBITDA=営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 利息（売上原価） + リース料（売上原価）

▶ 2026年12月期 第2四半期 連結業績（セグメント別構成）

		2025/12期 第2四半期 累計実績	2026/12期 第2四半期			
			累計実績	1Q	2Q	前期比
(百万円)						
売上高	■ 医療経営総合支援	3,059	5,058	2,367	2,691	+1,998 +65%
	■ シニア関連	3,690	4,427	2,068	2,359	+736 +19%
	■ 高度管理医療機器	3,551	3,832	1,935	1,896	+280 +7%
	■ その他	219	376	120	255	+156 +71%
営業利益	■ 医療経営総合支援	1,299	456	177	279	▲ 843 ▲ 64%
	■ シニア関連	187	311	131	180	+124 +66%
	■ 高度管理医療機器	275	240	143	96	▲ 35 ▲ 13%
	■ その他	41	117	▲ 16	133	+76 +186%

▶ 2026年12月期 第2四半期累計 セグメント別増減要因（売上高ベース）

各セグメントにおけるオーガニック成長に加え、前期のM&A効果により増収

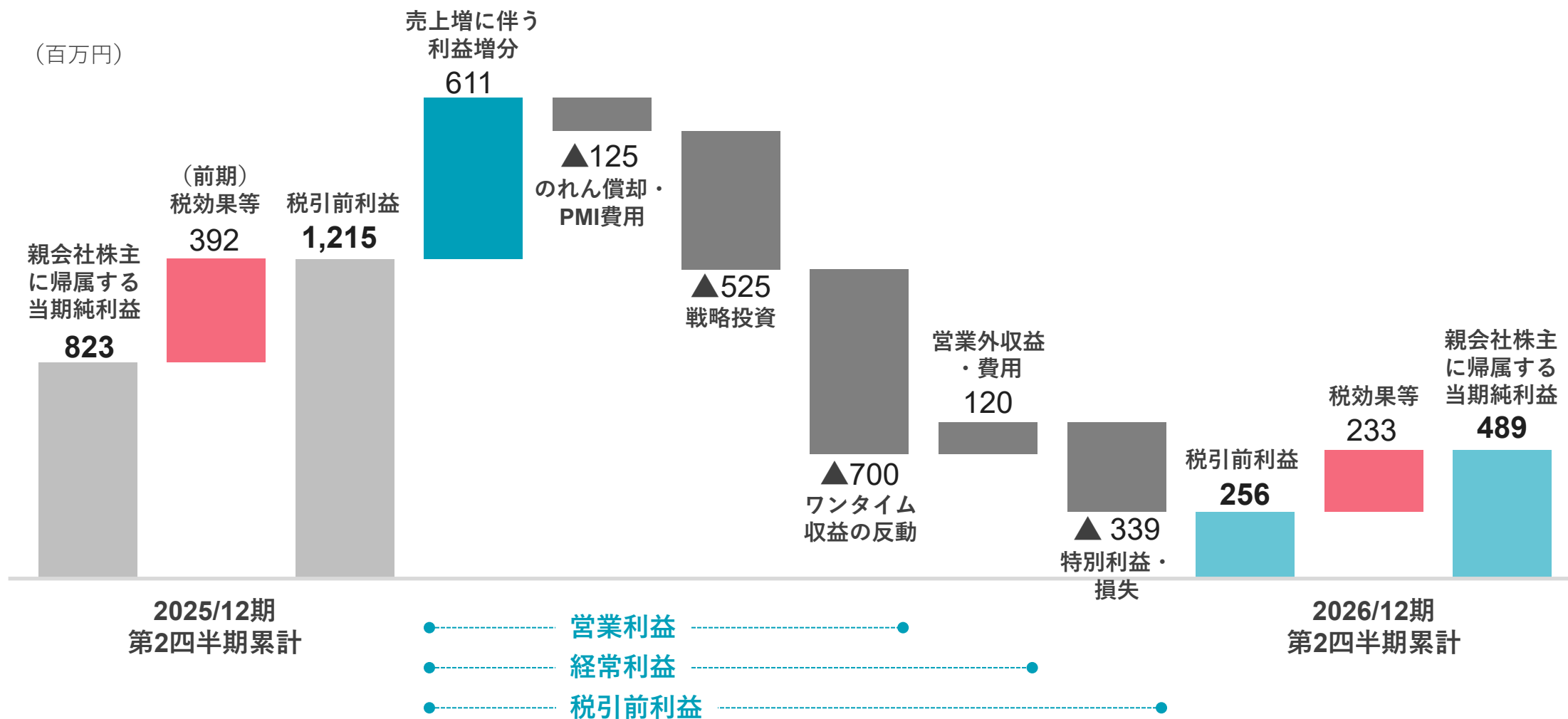


主な増減要因

医療経営総合支援	前期に新たに提携した医療法人の寄与
シニア関連	クラチの入居率向上およびGplusの販売増加
高度管理医療機器	カラーコンタクトレンズを含むコンタクトレンズの販売増加
その他	新たな領域での事業展開による販売増加

▶ 2026年12月期 第2四半期累計 要素別増減要因（利益ベース）

前期のワンタイム収益の反動に加え、Hippocratic AI関連費用を特別損失¹として計上し減益



(注釈) 1.当社がHippocratic AI, Inc.に先行して支払った費用について足元の環境変化を鑑み、その回収可能性を再検討した結果、特別損失として計上

▶ 2026年12月期 重点取り組みテーマの進捗

提携医療法人の拡大は遅延。BPO及び在宅医療は着実に伸長

重点取り組みテーマ

提携医療法人の拡大

現場ニーズに応じ、既存の経営再建や承継のサービスラインナップに、統合/閉院ソリューションを加え、拡充し、推進

(KPI | 新規提携病院数 +5 (累計36))

BPO¹領域の成長加速

提携医療法人で確立したBPOの型（コスト削減支援、DXソリューション等）を提携医療法人のみならず提携医療法人以外にも必要なプログラムを提供

(KPI | 受託件数 +8 (累計9))

在宅医療領域の強化

地域の方々が医療機関、介護施設、自宅をシームレスに移動しながら快適に日常生活を送り、住み慣れた地域で多様なサービスを受けられるよう、メディステップを軸として在宅と医療機関との繋がりを強化し、地域包括ケアシステムの構築を推進

(KPI | 利用者数 (年間の延べ人数) +6,000人以上 (年間累計26,000人以上))

進捗

0

(既存 ▲2)

提携病院の新規獲得はなく、計画対比で遅れが発生。引き続き、複数の医療法人との対話を継続。一方で、既存の2提携病院とパートナーシップ契約を解消するも、当該医療法人との取引規模は極めて限定的であり、業績への影響は無し

+ 6

(第2四半期 +5)

引き合いは堅調に推移しており、期初計画8病院に対して2026年6月末時点で6病院への導入が完了するなど、導入は期初想定を上回るペースで進捗

+ 約3,100

(第2四半期 +約1,600)

新たに2支所が開設し、利用者数も計画通りに増加しており、在宅医療と医療機関との連携強化に向けた取り組みについても、計画通りに進捗

(注釈) 1.BPO = ビジネス・プロセス・アウトソーシングの略称

▶ トピックス | 現場起点の事業開発が成果につながり、次の収益基盤構築が進展

病院経営の現場で培った知見を起点に事業を創出し、複数の取り組みが具体的な成果に結実

ユカリアの事業開発モデル

ユカリアでは現場運営を実際に行う中で得られたニーズを元に事業を開発
実証フィールドとして現場の協力があることで仮説検証サイクルを回し、
事業/プロダクトをブラッシュアップし続けることが可能



→ 再現性の高い事業運営モデルを構築

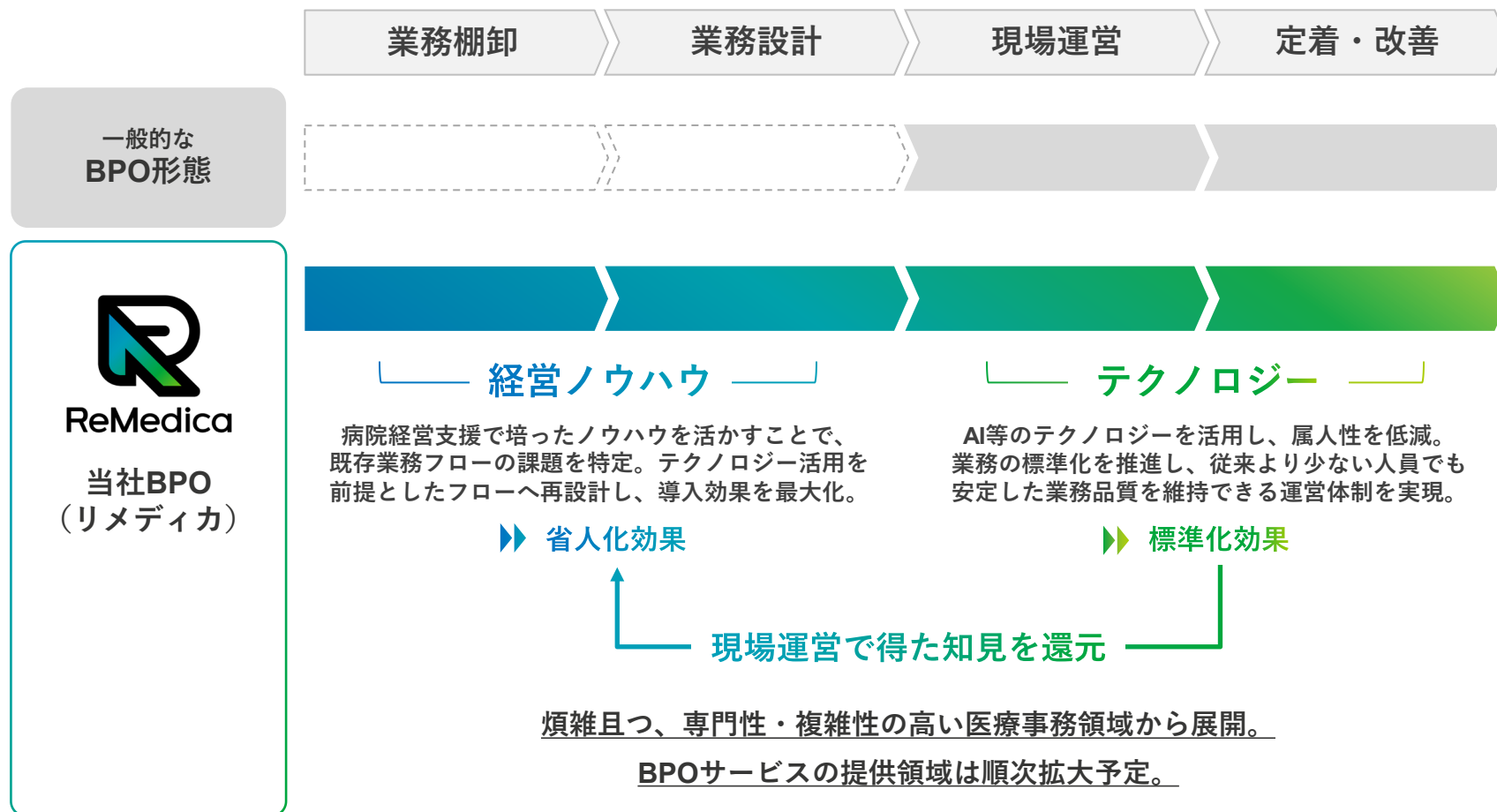
他社の事業開発モデルとの違い¹



(注釈) 1. 当社の事業開発モデルを説明したものであり、他社様を否定するものではありません

▶ トピックス① | BPOは順調に引き合いが増加し、成長フェーズへ移行

経営ノウハウとテクノロジーを融合したBPOの導入効果が評価され、引き合いが着実に増加



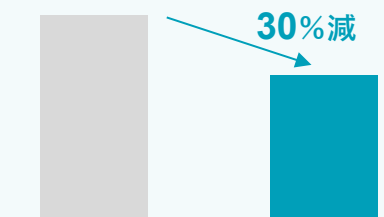
導入事例



所在地：関東地方
病床数：約200床

業務削減時間/月

553時間



- ▶ 時間外労働を大幅に削減し、患者対応への注力による院内満足度向上や患者待ち時間短縮を実現。
- ▶ 業務標準化により診療報酬の請求漏れを防止し、コスト・収益の両面で効果が発現。

▶ トピックス② | 新たな成長軸として、金融サービスの本格拡大へ

病院経営サポートで培ってきた金融サービスの市場ニーズを確認し、外部展開に着手

当社金融支援メニュー

解決する資金課題

現在

今後

01 診療報酬債権
ファクタリング

診療報酬の
入金タイムラグ

02 運転資金貸付

人件費などの
運営コスト高騰

03 信用保証

医材・薬剤の
仕入れ負担増

04 不動産のS & LB¹

施設保有・
更新負担の増大



提携医療法人

29病院

2026年7月時点

外部へ本格展開

約 **11.4** 万施設²

約8,000病院＋約106,000診療所²

2025年秋より、外部向けにトライアル開始
当社金融サービスの提供ニーズを確認済み

周辺領域・
他業界へも展開

当社は病院経営サポートで培ってきた目利き力を活かし、
他には無い多彩な金融サービスを提供し、資金課題を解決

(注釈) 1. セール&リースバックの略称。
2. 出所：厚生労働省「医療施設動態調査（令和8(2026)年5月末概数）」

▶ 連結貸借対照表（BS）

引き続き、高い財務健全性を維持しつつ、事業成長に向けた投資を継続

2025年12月末時点

単位：百万円

流動資産	負債
現預金 9,085	有利子負債 ¹ 29,035
固定資産	リース債務 6,509
土地・建物 26,028	純資産
リース資産 5,521	21,779
のれん 2,346	

総資産 **65,125** 自己資本比率² **31.5%**

2026年6月末時点

単位：百万円

流動資産	負債
現預金 10,973	有利子負債 ¹ 31,089
固定資産	リース債務 6,400
土地・建物 25,764	純資産
リース資産 5,398	22,315
のれん 2,296	

総資産 **67,466** 自己資本比率² **31.2%**

(注釈) 1.有利子負債=短期借入金 + 1年以内返済予定の長期借入金 + 長期借入金 + リース債務 + 社債
2. (純資産-非支配株主持分) ÷ 総資産

2 2026年12月期 業績予想

1 2026年12月期 第2四半期実績

2 2026年12月期 業績予想

3 Appendix

▶ 2026年12月期 連結業績予想

従前から見込む案件の収益で、期初計画達成を見込む

(百万円)	2025/12期 実績	2026/12期				
		業績予想	上期実績	下期見通し	前期比	
売上高	24,734	33,035	13,678	19,356	+8,301	+34%
売上総利益	10,739	13,509	5,257	8,251	+2,770	+26%
Margin	43.4%	40.9%	38.4%	42.6%	-	-
営業利益	2,365	2,864	395	2,469	+499	+21%
Margin	9.6%	8.7%	2.9%	12.7%	-	-
EBITDA ¹	3,845	4,502	1,199	3,303	+657	+17%
Margin	12.2%	13.6%	8.7%	17.0%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,776	1,658	489	1,168	▲1,118	▲40%
Margin	11.2%	5.0%	3.6%	6.0%	-	-

(注釈) 1. EBITDA=営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 利息（売上原価） + リース料（売上原価）

▶ 2026年12月期 セグメント別業績予想

		2025/12期 実績	2026/12期			
			業績予想	上期実績	下期見通し	前期比
(百万円)						
売上高	■ 医療経営総合支援	8,550	14,740	5,058	9,682	+6,190 +72%
	■ シニア関連	8,072	10,002	4,427	5,574	+1,930 +24%
	■ 高度管理医療機器	7,456	7,657	3,832	3,825	+201 +3%
	■ その他	656	883	376	507	+227 +35%
営業利益	■ 医療経営総合支援	2,448	3,315	456	2,858	+867 +35%
	■ シニア関連	529	781	311	469	+252 +48%
	■ 高度管理医療機器	524	388	240	148	▲136 ▲26%
	■ その他	239	51	117	▲66	▲188 ▲78%

3 Appendix

1 2026年12月期 第2四半期実績

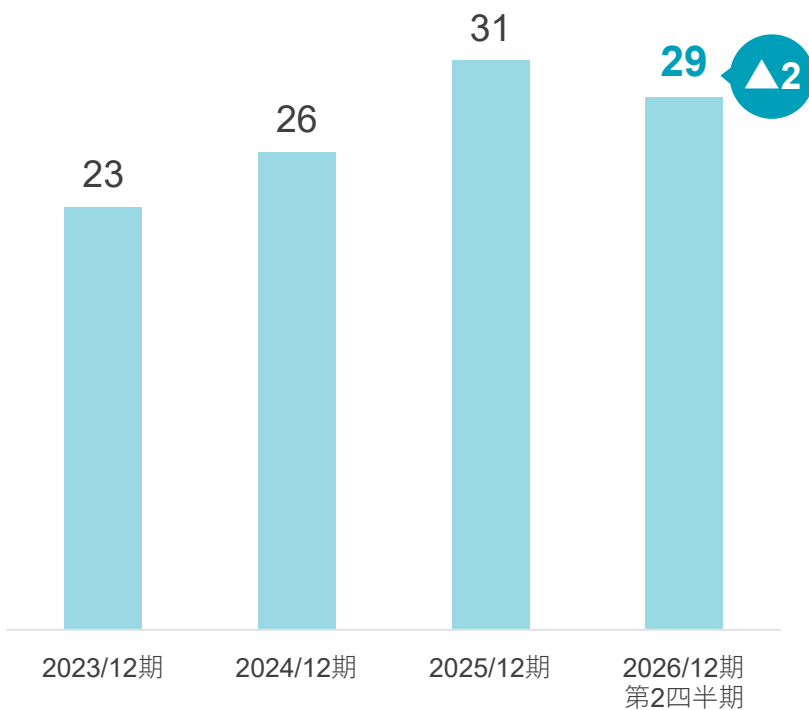
2 2026年12月期 業績予想

3 Appendix

▶ セグメント別KPI 進捗

KPI | 提携病院数

(件)



KPI | 入居率

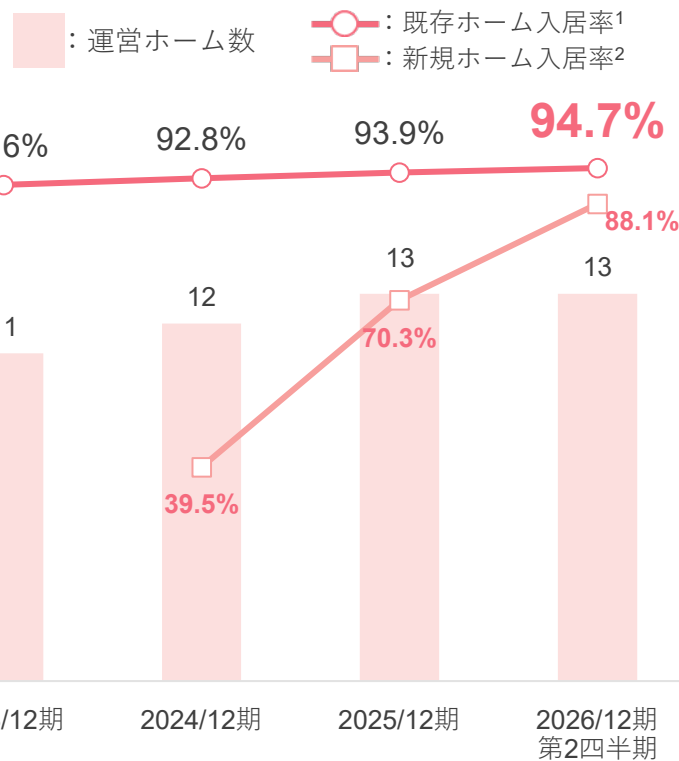
(%)



KURACI



Solcias

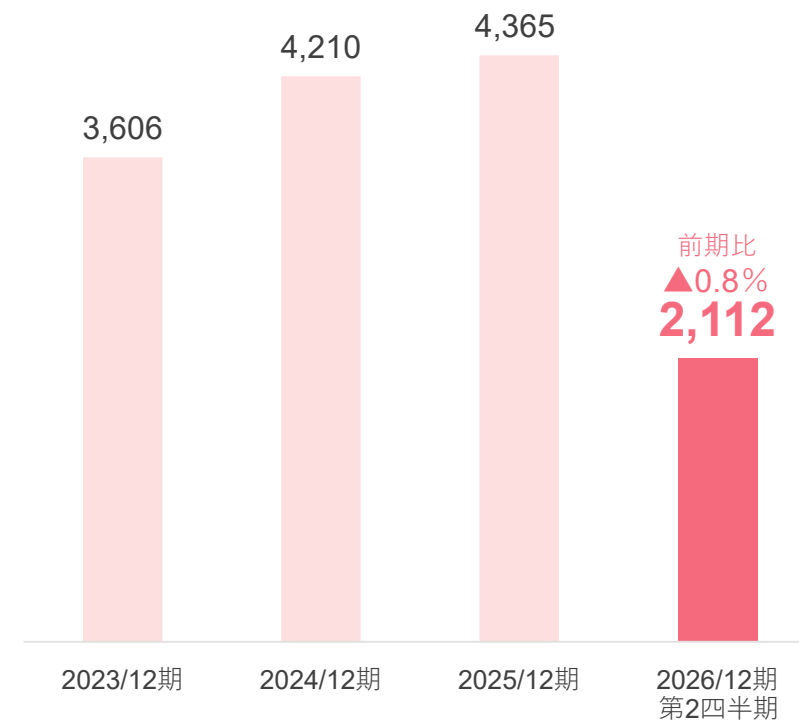


KPI | 入居斡旋件数

(件)



あいらいふ
i-Life



(注釈) 1.2024/12期に事業譲受した新規ホーム（クラーチ・ファミリア西新宿（旧：アスデンシア西新宿））及び2025/12期に事業譲受した新規ホーム（ソルシアス佐倉）を除く既存11ホームのみの入居率
2.2024/12期に事業譲受した新規ホーム（クラーチ・ファミリア西新宿（旧：アスデンシア西新宿））及び2025/12期に事業譲受した新規ホーム（ソルシアス佐倉）を合算した入居率

▶ 本資料の取り扱いについて

免責事項

本資料は、株式会社ユカリア（以下「当社」）の決算内容及び事業状況等についての情報提供を目的として作成されたものであり、当社の株式その他の有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料には、当社の将来に関する見通し、計画、戦略等が含まれています。これらの将来予測に関する記述は、資料作成時点において当社が入手可能な情報および当社の判断に基づいて作成されたものです。

当社は、本資料に記載された情報の正確性または完全性についていかなる保証も行うものではなく、本資料の利用またはこれに依拠したことにより生じたいかなる損害についても、一切の責任を負うものではありません。



EUCALIA